

1, 聞いてみよう！あなたの知らない“土の世界”-放射性セシウムとの関係-

“様々な角度から別々に研究していて、例えば土壌物理を専門とする人は植物栄養のことはあまり分からない”とあったが、研究していく中で、他分野の土壌に対する知識は研究する上で必要ないのかが気になった。”化学構造は全部分かっていて、不足してきている陶土用に人工的につくっているところもありますが、つくるためには電気代がかかってしまうので、つくらないのが普通です。”とあったが、どれくらいの電気代がかかるのでしょうか。

“慣れてくると、少し掘ってその場所の土を見てこの粘土は何なのか見分けられるようになります”と書かれており、私も土を掘って何の土なのか見分けられるようになりたいと思った。また、土を掘る際におすすめの場所があれば知りたい。”土やセシウムと粘土鉱物との関係がきちんとわかっている人の意見や理論がマスコミなどで取り上げられなかった、こちらが懸命に話しても、「説明されても分からない」という態度でした。「科学技術は信じられるのか」という気持ちを日本中に蔓延させたこと”とあったが、私からすれば自分たちの知っていること、興味あることしか報道しようとししないマスコミを日本国民は、信じられるのかと疑問に思った。マスコミ、メディアで報道、取材する人をもう少し理系の人が行った方がいいのではないだろうか。また、日本人はなかなか責任をとろうとせず、責任を押し付けあっているイメージがある。前の人はこう言ったから、こういう決まりだったから、みんなやっていたからと言って責任を逃れようとしている。裏金問題も同じである。責任者がいない、またはその責任者も誰かに押し付けようとしていて自分は悪くないスタンスをとっているのが私は気に食わない。”セシウムを含んだ土がきれいに剥がせたんです”とあり、それはとても素晴らしく良い技術だと思った。一方で、それを一般の方に説明して理解してくれ、そこで育った作物を買って食べてくれるかと言われたら難しいのではないかと考える。

“SPEED1によって福島原発事故では北西方向へ向かっているらしいとわかっていた、それなのにその内容は報告されず”とあったが、なぜ報告をしなかったのだろうか。その機械に対して自信がなく、違った時の責任を取りたくないのか、避難場所の確保ができないからなのか、色々考えられるが、真相を知りたい。真相を知ること、日本人の思想、体系が知れるのではないだろうか。“2011年6月から通ってかれこれ7年”とあったが放射線による身体への影響はないのだろうか。“国から認められている除染の手続き”とあるが国は何を根拠に認めたのだろうか。“田車は田植えの後の除草に昔から使うものですが、これを使って水田の土を混ぜて泥水にして流す”とあったがその流した泥水は汚染されていないのだろうか。魚に影響はないのだろうか。

2, 情報通信インフラ整備で開花する新しい農業農村の多面的機能

“インドネシアの政府の役人も情報利用は当たり前と考えていて、農業省を含む7つの省が一丸となって農業情報のインフラに取り組んでいる”とあった。これを聞いて、日本も農業情報インフラを整備すべきであると考えます。日本では、スマート農業と叫ばれているが、実際の現場では情報のインフラ整備が十分に行われていないため、家族経営の農業では、導入できない。また、農業は若い人が行うのではなく、高齢者の方が行うという固定概念が私の中にあります。これを脱するために私たちが積極的に手を挙げ、声を上げないといけない。